

令和5年度
新潟大学工学部 総合型選抜 入学試験問題

小論文

(人間支援感性科学プログラム)

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題は、全部で1ページである。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出ること。
問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。また、別に解答用紙が1枚ある。
- 3 志望する主専攻プログラム名を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 4 受験番号を解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
- 5 解答時間は、60分である。
- 6 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

眼鏡は視力を補助する医療機器であるだけでなく、ファッションアイテムとして、その人の個性を主張する。他方で、同じく医療機器である補聴器は、目立たないように小型化され、肌に近い色で作られることが多い。両者に違いが生じる理由を、機能性、デザイン性という観点から論じなさい。

次に、このような論点について深く考えられるようになるため、人間支援感性科学プログラムでどのようなことを学びたいかを具体的に述べなさい。

(全体で 600 字以内)

令和5年度総合型選抜 小論文

工学部工学科人間支援感性科学プログラム

【出題意図】

第1段落は、眼鏡と補聴器の間で可視性（それを積極的に見せようとするか、逆に隠そうとするか）に違いが生じる理由について、論理的に説明できるかという思考力を見る問題である。眼鏡はファッション性に富むが、本来の機能は損なわれていないか？ 補聴器を隠そうとするのはなぜか？ 補聴器を小型化したために補聴の機能は損なわれていないか？ 小型化のためにどのような技術革新が行われたか？ などについて具体的な理由が述べられ、その理由が妥当であるかを問う。

機能性、デザイン性、社会背景（怪我や病気、障害などを隠すのか、オープンにするのか）を考慮しながら設計ができる技術者を目指す者として、本プログラムのどのような科目でどのような内容を学びたいか、それらを事前に調べているか（本プログラムの教育内容にどれだけ興味があるか）を第2段落では見ている。

論文全体の表現力を見る。具体的には、語彙力（各単語を適切に用いているかどうか。難しい語を使う必要はない）、文章表現の文法的な正しさ（主語と述語の係り受けが正しいか、適切な助詞を用いているかなど）、わかりやすさ（途中でつかかからずに読むことができるか）、表記の間違いの有無などをチェックする。文学のような表現の技巧性は求めない。